にほんご多読(たどく)ブックス

サル(さる)とカニ(かに)

NPO多言語多読［監修］

Taishukan Japanese Readers

Level 2



TAISHUKAN

〈にほんご多読ブックス〉の読み方

辞書を使わないで、すらすら読めるレベルの本を楽しくたくさん読むこと、これが「多読」です。多読は日本語の勉強にとても大切です。「にほんご多読ブックス」には、昔話や小説、伝記、ノンフィクションなどいろいろな話が入っています。次のルールを守って楽しみながらどんどん読みましょう。

●多読のための４つのルール

1　やさしいレベルから読む

2　辞書を引かないで読む

3　わからないところは、とばして読む

4　進まなくなったら、他の本を読む

にほんご多読ブックス
Taishukan Japanese Readers

Level
2

サルとカニ

NPO多言語多読［再話・監修］
石川智子［挿絵］

大修館書店





あるところに、カニがいました。
カニは海のそばに住んでいました。

ある日、カニは、おにぎりを持って散歩に行きました。

すると、山のほうからサルが歩いてきました。
サルは柿の種を持っていました。サルは、カニのおにぎりを見て思いました。

——あ、あのおにぎりが食べたいな——

そして、カニに言いました。

「カニさん、こんにちは。大きなおにぎりを持っていますね」

カニは答えました。

「ええ。サルさんが持っているものは何ですか」

サルは言いました。

「柿の種ですよ。これを庭に埋めて水をやると、大きな木になります。

そして、おいしい柿ができます」

「へえー」

「カニさんのおにぎりは一つだけですね。でも、柿はたくさんできますよ」

「いいですねえ」



「ほしいですか。あげますよ」

「え！ うれしいな」

「じゃあ、柿(かき)の種(たね)をあげますから、そのおにぎりを私(わたし)にください」

カニ(かに)はサル(さる)に、おにぎりをあげました。

そして、柿(かき)の種(たね)をもらいました。

カニ(かに)は、喜(よろこ)んで家(いえ)へ帰(かえ)りました。

サル(さる)は、

「ばかなカニ(かに)だ」

と言(い)って、すぐにおにぎりを食(た)べました。

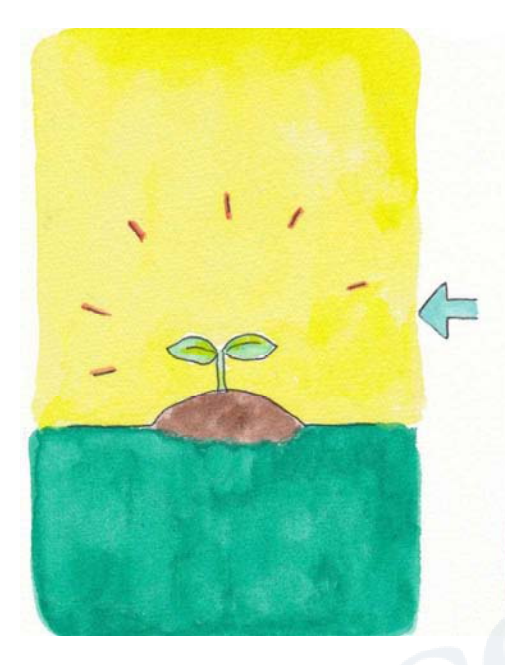




カニ(かに)は家(いえ)へ帰(かえ)ると、柿(かき)の種(たね)を庭(にわ)に
埋(う)めました。

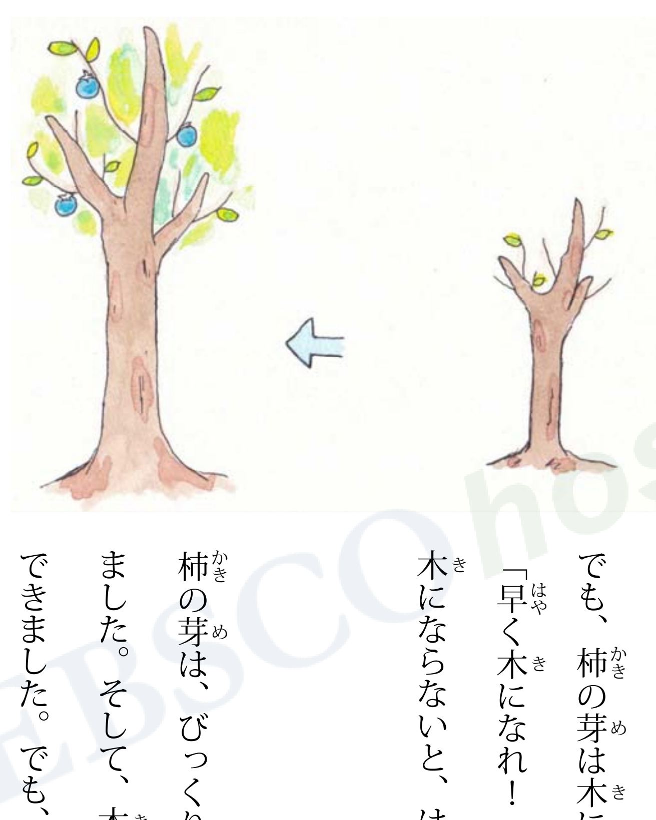
それから、毎日毎日(まいにちまいにち)、水(みず)をやりました。
でも、柿(かき)の種(たね)は芽(め)を出(だ)しません。





カニは言いました。
「早く芽を出せ！　柿の種。
芽を出さないと、はさみで切るぞ！」

柿の種は、びっくりして芽を出しました。



カニは、毎日毎日、柿の芽に水をやりました。
でも、柿の芽は木になりません。
「早く木になれ！ 柿の芽。
木にならないと、はさみで切るぞ！」

柿の芽は、びっくりして大きな木になりました。そして、木に青い柿が、たくさんできました。でも、青い柿は赤くなりません。





カニは、また、毎日毎日、柿の木に水をやりました。

「早く赤くなれ！　青い柿。
赤くならないと、はさみで切るぞ！」

柿は、またびっくりして急いで赤くなりました。

カニは、うれしくて、うれしくて、
――早く食べたい――
と思いました。

そして、柿の木に登りました。
何回も登りましたが、木の上まで行くことができません。
それを山の上で、サルが見ていました。
――あ、柿がたくさんできたな――
サルは、急いで山から下りてきました。
「カニさん、私が柿をとってあげましょうか」
サルは、そう言って柿の木の一番上まで登りました。そして、赤い柿をとって食べました。



「おいしい、おいしい」
「お～い、サルさん、サルさん。私にも一つとってください！」
カニは木の下で言いました。
でも、サルは何も言わないで食べています。

カニは大きな声で言いました。
「お～い、サルさん、私にも
一つとってください！」

サル（さる）は、

「わかった。えい！」

と言（い）って、青（あお）い柿（かき）をとって投（な）げました。



「痛い！」

サルは、また、青い柿を投げました。

「痛い！　痛い！」

カニは立つことも歩くこともできなくなりました。

サルは、

「ああ、おいしかった」

と言って、山へ帰りました。



次の日、カニの家へ、臼とハチと栗が遊びに
来ました。

カニの話を聞いてみんなが言いました。

「悪いサルだ！」

「嫌なサルだ！」

臼が言いました。

「これから、みんなでサルの家へ行き
ましょう！」

臼とハチと栗は、サルの家へ行きました。

でも、サルはいませんでした。

「どうしましょう？」

「待ちましょう」

「どこで待ちましょう？」

臼は、家の屋根の上で待ちました。

栗は、いろりの灰の中で待ちました。

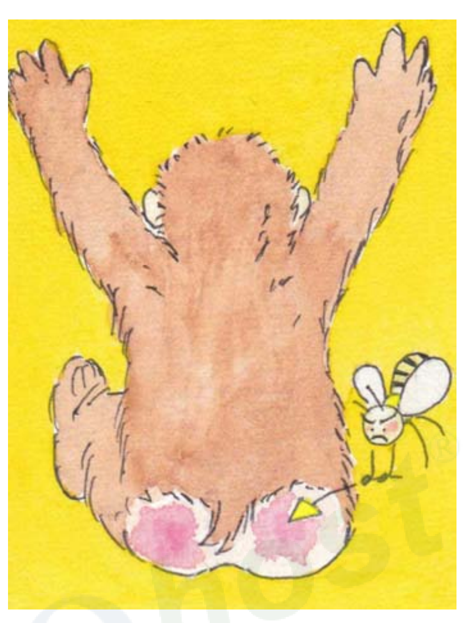
ハチは、水が入ったかめの後ろで待ちました。

すると、サルが帰ってきました。
サルは、
「ああ、寒い、寒い。お尻が冷たいなあ」
と言って、いろりの前に座りました。
そのときです。灰の中の栗が、熱くなって飛び出しました。

パーン

「ぎゃー、熱い、熱い！」
サルのお尻は、赤くなりました。
サルは、急いで水が入ったかめのところへ行きました。すると、かめの後ろで待っていたハチが飛び出して、サルのお尻を刺しました。







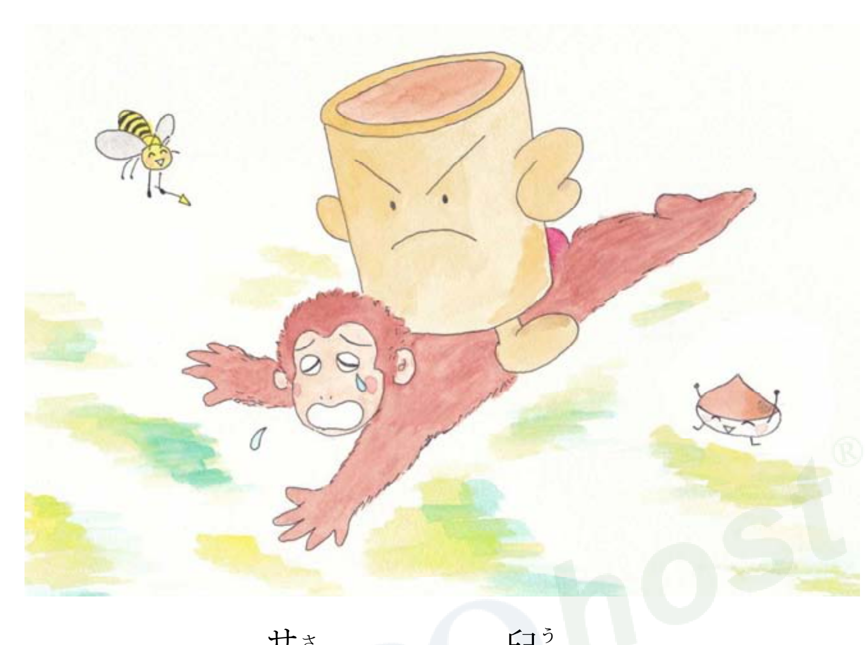
ブーン、チクッ

「痛い、痛い！」

サルは泣きながら家の外に出ました。

そのときです。屋根の上の臼が、サルの上に飛び降りました。

ドスーン



「うわぁ、重(おも)いよ～、痛(いた)いよ～」
臼(うす)とハチ(はち)と栗(くり)が、サル(さる)に聞(き)きました。
「もう悪(わる)いことはしないか？」
「ごめんなさい。もう悪(わる)いことはしません」
サル(さる)は泣(な)きながら答(こた)えました。

［監修者紹介］

NPO 多言語多読（エヌピーオー　たげんごたどく）

2002年に日本語教師有志が「日本語多読研究会」を設立し、日本語学習者のための多読用読みものの作成を開始した。2012年「NPO 多言語多読」と名称を変更し、日本語だけでなく、英語、韓国語など、外国語を身につけたい人や、それを指導する人たちに「多読」を提案し、支援を続けている。http://tadoku.org/

主な監修書：『レベル別日本語多読ライブラリー　にほんご　よむよむ文庫』レベル 0、1、2、3、それぞれ vol. 1 ～ 3、レベル 4　vol. 1 ～ 2、『日本語教師のための多読授業入門』（ともにアスク出版）

＊ この本を朗読した音声は、NPO 多言語多読のウェブサイトからダウンロードできます。http://tadoku.org/learners/book_ja/mp3downloads

〈にほんご多読ブックス〉vol. 1-5
サルとカニ
© NPO Tadoku Supporters, 2015　NDC817／18p／21cm

電子書籍版――2015年12月1日

監修者――NPO 多言語多読
発行者――鈴木一行
発行所――株式会社 大修館書店
〒113-8541　東京都文京区湯島2-1-1
電話　03-3868-2651（販売部）　03-3868-2290（編集部）
振替　00190-7-40504
［出版情報］　http://www.taishukan.co.jp

表紙組版――明昌堂
制作所――壮光舎印刷



この本を朗読した音声は、NPO多言語多読のウェブサイトから
ダウンロードできます。

▶http://tadoku.org/learners/book_ja/mp3downloads

〈にほんご多読ブックス〉 レベル/語数/文法のめやす

		JLPT	語数	1話あたりの字数	主な文法事項
0	入門	N5	350	～400	現在形，過去形，疑問詞，～たい　など（基本的に「です・ます体」）
1	初級前半	N5	350	400～1,500	
2	初級後半	N4	500	1,500～3,000	辞書形，て形，ない形，た形，連体修飾，～と（条件），～から（理由），～なる，～のだ，など
3	初中級	N3	800	2,500～6,000	可能形，命令形，受身形，意向形，～とき，から，たら・ば・なら，～そう（様態），～よう（推量・比喩），複合動詞　など
4	中級	N3	1,300	5,000～15,000	使役形，使役受身形，～そう（伝聞），～らしい，～はず，～もの，～ようにする／なる，ことにする／なる　など
5	中上級	N2	2,000	8,000～25,000	機能語・複合語・慣用表現・敬語など 例）～につれて，～わけにはいかない，切り開く／召し上がる，伺う

JLPT

日本語能力試験（JLPT）のレベルについては、「日本語能力試験公式ウェブサイト」の「N1～N5：認定の目安」（http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html）を参考にしました。

ふりがな（ルビ）のふり方

レベル0～2…すべての漢字とカタカナ／レベル3，4…すべての漢字／
レベル5…小学校三年生以上で習う漢字

本書は、2014～2015年に発行された「にほんご多読ブックス」シリーズ（NPO多言語多読　監修・発行）の複製（リプリント）版です。

サルとカニ

カニはサルから柿の種をもらい、サルにおにぎりをあげました。やがて柿の種は芽を出し、おいしい実がなりました。そこにサルがやってきて…。日本の昔話。

The Monkey and the Crab

A crab gets a persimmon seed from a monkey in exchange for a rice ball. When the seed eventually grows and bears fruit, the monkey shows up again... A Japanese folk tale.



0	入門	Starter
1	初級前半	Beginner
2	**初級後半**	**Elementary**
3	初中級	Pre-Intermediate
4	中級	Intermediate
5	中上級	Pre-Advanced

vol. 1-5